

〈隷書〉

好鳥隔江如喚人  
清溪遶屋可濯足

井之上 南岳 先生書

(この課題で書体は自由。但し、この課題は一人一点のみとする)

半折作品は各課題ごとに横／＼に一枚ずつたんで提出ください。

〈楷書〉

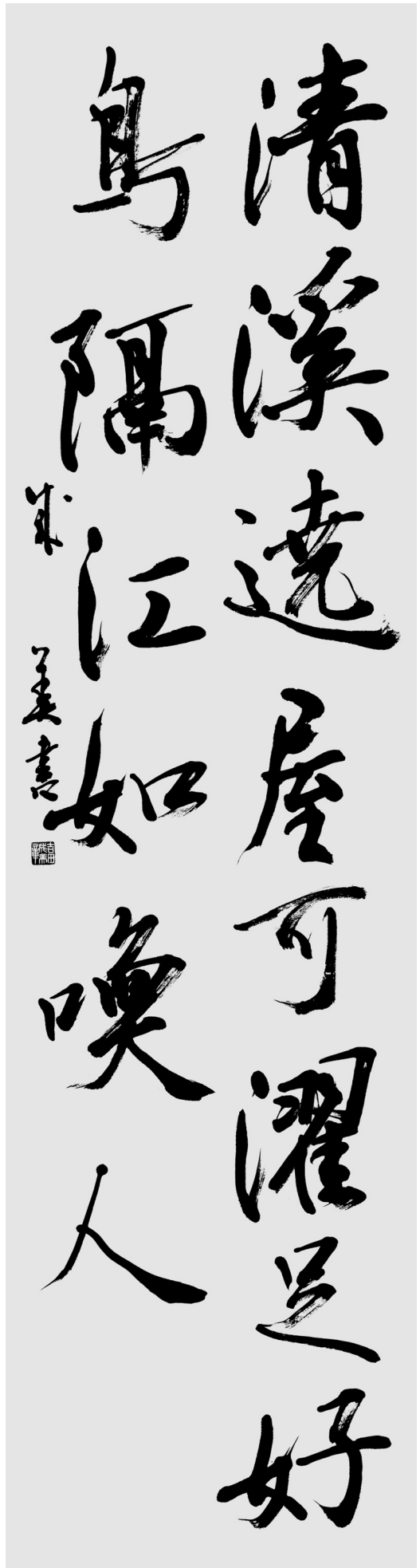
好鳥隔江如喚人  
清溪遶屋可濯足

清原大龍 先生書

□ 清溪屋を遶り足を濯う可く、好鳥江を隔て人を喚ぶが如し。(李質)

次号予告「挑泉帶月歸」

〈行書〉



吉田成美先生書

▽家をとりまく清き谷川の水は世を忘れるに足り、川をへだてて鳴く鳥は人を呼ぶかとも思われる。

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課題のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書



□ 無羅<sup>むら</sup>さ免<sup>め</sup>の 露<sup>つゆ</sup>も万<sup>ま</sup>多<sup>た</sup>日<sup>ひ</sup>ぬ 満<sup>ま</sup>きの八<sup>は</sup>二<sup>に</sup> き梨<sup>り</sup>多<sup>た</sup>遅<sup>ち</sup>の本<sup>ほ</sup>る あき農<sup>の</sup>遊<sup>ゆ</sup>ふくれ

村雨<sup>むら</sup>の 露<sup>つゆ</sup>もまた<sup>また</sup>ひぬ まきの葉<sup>は</sup>に 霧<sup>きり</sup>たち<sup>たち</sup>のほる 秋<sup>あき</sup>の夕<sup>ゆ</sup>ぐれ

〈百人一首八十七〉

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課題は一人一点のみとする）

小 畠 秋 聲 先 生 臨



▽ 集字聖教序

歷千劫而不古若隱若顯運百福而長

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課題のいずれか一点のみとする）

吉 田 成 堂 先 生 書



□ 森山隆平の詩 羅漢が遠くをみつめるのは 自分自身を捨てるためだ

△ 手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。▽

半折作品は各課題ごとに横1/2に一枚ずつたんで提出ください。

条幅随意参考手本（半折½縦のみ） — 5月末日締切 —

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



□ 横山白虹の句 夕桜 折らんと白き のど見する

「夕桜」と「折らんと白き」の文字群の対比で作品構成しています。文字の大小、墨の潤渇の変化を配し、立体感のある作品にしましょう。

山本飛雲先生書

条幅随意参考手本（半折½縦のみ） — 5月末日締切 —

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



□「塵外」 俗世間を離れた場所 浮世のそと。  
軽やかな筆運びと筆の開閉を意識し、リズムに乗って一気に書いてみましょう。

渡 邊 大 嶽 先 生 書

(この課題で書体は自由。但、この課題は一人一点とする)

浪揺らげば千臉笑う  
浪が揺れると、薔薇は千の顔をほころばせる。

臉笑 浪揺千

半紙規定参考手本  
吉田成美先生書

□ 浪揺らげば千臉笑う(唐・李群玉)  
浪が揺れると、薔薇は千の顔をほころばせる。

次号予告「南風吹歸心」

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課題は一人一点とする)



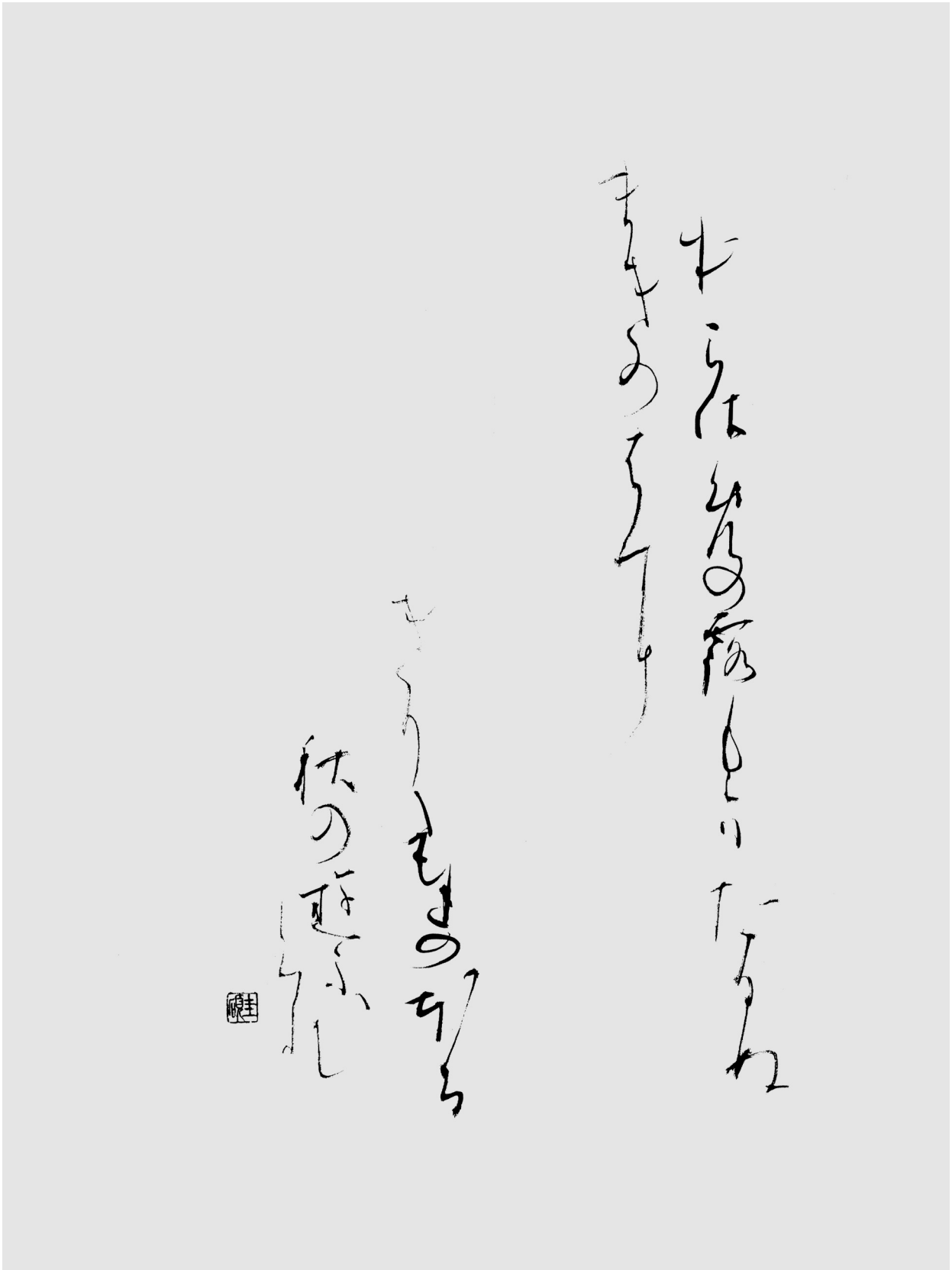
□ 浪揺らげば千臉笑う(唐・李群玉)  
浪が揺れると、薔薇は千の顔をほころばせる。

半紙随意参考手本 — 5月末日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△飯名▽

むら佐免さめの露も万また日ひぬ まきの者は耳に きり多た遅ちの本ほる 秋の遊ゆふくれ



村雨の露もまたひぬ まきの葉に霧たちのほる 秋の夕ぐれ

舟尾圭碩先生書



(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△詩文書▽

「君と世界を歩きたい」 銀色夏生の詩 自転車で坂道下る 君と世界をまわりたい



※出品券は、半紙をタテにした左下に貼って提出ください。(ヨコ作品の場合も半紙をタテにして同様に貼ってください)

大竹美喜先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

□ 致 思 思いを致す (孔子家語)  
思いを巡らす。

致  
思

半紙随意  
書



次号予告「静境」

吉田成美先生書

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課題は一人一点とする）



△臨書▽ 筆圧に強弱をつけてリズムよく、空間が狭くならないようにしましょう。

「遵之莫知其際」

大坪桂子先生臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△実用書▽

柏餅 かしわもち 皐月 さつき

五月晴れ さつきば 母の日 ははのひ

潮干狩り うしほ 憲法記念日 けんぽうきねんじつ

新茶 あらたか 立夏 りつか

鯉のぼり こいぼり 八十八夜 やっぴちや

カーネーション カーネーション 端午の節句 たんごのせっく

新茶	柏餅	立夏	皐月
鯉のぼり	五月晴れ	八十八夜	母の日
カーネーション	潮干狩り	端午の節句	憲法記念日

姓  
号

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

あなたが転勤して三年がたちました  
三度目の誕生日プレゼントを送りました  
手渡し出来たらどんなに嬉しいでしょう  
私も札幌で暮らす決心がつかない  
三年越しのプロポーズお受けします 知子

△手紙文▽

あなたが転勤して三年がたちました 三度目の誕生日プレゼントを送りました 手渡し出来たらどんなに嬉しいでしょう 私札幌で暮らす決心がつかない 三年越しのプロポーズお受けします 知子

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

# 書譜

△暮らしに役立つ書▽

このたびは奥様が入院されたと聞き、驚  
いとおります。おかげはいかゞでしょうか。ご家  
族の皆様も大変ご心痛のことでしょう。  
とにかく今は、体を治すことが先決です。  
どうか充分にご養生くださいませ。  
すぐいづれも駆けつけたいところではござい  
ますが、ご容体が落ち着かれました頃、お見舞  
い伺いたいと思っております。  
一日も早いご回復を心よりお祈り申  
上げます。

野のある便箋に書いてみよう。

△26 cm × 18 cm▽

紙質は自由。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

小 畠 秋 聲 先 生 書





今月のかきかたドリル

(形や注意する点に気をつけてゆくり書こう！)

中学	範	定	丸	川	順	相	花	ん	の
小学6年	範	定	丸	川	順	相	花	ん	の
小学5年	範	定	丸	川	順	相	花	ん	の
小学4年	範	定	丸	川	順	相	花	ん	の
小学3年	範	定	丸	川	順	相	花	ん	の
小学2年	範	定	丸	川	順	相	花	ん	の
小学1年	範	定	丸	川	順	相	花	ん	の
ようねん	範	定	丸	川	順	相	花	ん	の

一般の方も是非チャレンジしてください。

坂元紫香先生書



空と大地

小学4年

あさ日

小学3年

かぶと

小学2年

もり

ようねん・小学1年

(この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。)

紅花摘み

中学2・3年

探究心

中学1年

働き者

小学6年

花の小道

小学5年

秋永春霞先生書

△条幅¼ || 四尺画仙紙半折¼ : 68cm × 17.5cm ▽

ようねん・小学一年

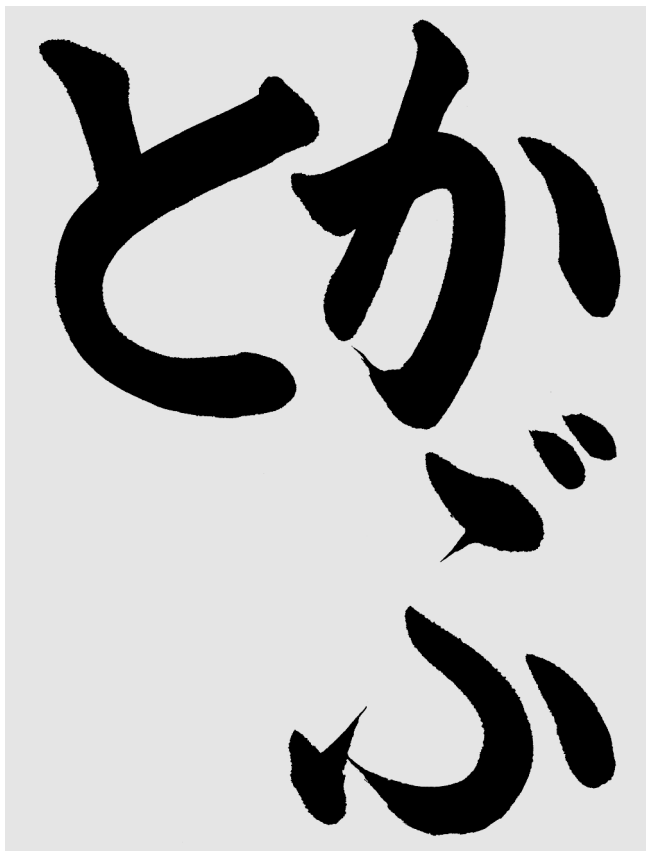
次号予告「はま」



□「も」の二画目や「り」の二画目は、うで全体でのびやかに書きましょう。

小学二年

次号予告「つばき」

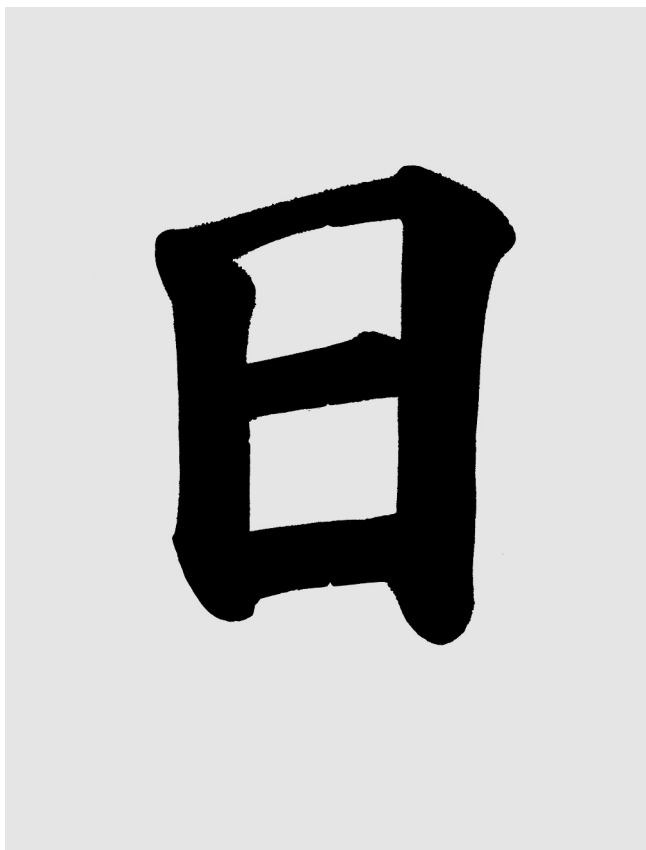


□筆は軽くにぎり、書く時の姿勢にも気をつけて書きましょう。だく点 はていねいに。

坂元紫香先生書

小学三年

次号予告「木」



□「折れ」を書くときのほ先の向きや、たて画の力の入れ方、画のつけ方に注意して書こう。

小学四年

次号予告「雲」



□「大」は、左右の「払い」を伸びやかに。「地」は、偏と「旁」のバランスに注意して書こう。

吉田成美先生書

小学五年

道

次号予告「飛行」

□「首」の場所、「目」の大きさに注意して、「しん」のように伸びやかに書きましょう。

小学六年

働

次号予告「感謝」

□「んべん」を太めに書き、「重」の横画を細めに等間かくで書くように気をつけましょう。

秋永春霞先生書

中学一年

探究

次号予告「木立」(行書)

□筆圧や点画のつながりを確かめながら、筆順に注意し、明るく伸びやかに書こう。

中学二・三年

紅花

次号予告「若菜」(行書)

□楷書とは異なる行書での部首の筆順の変化を理解し、流れよく伸びやかに書こう。

吉田成美先生書

段級	
氏名	
が	が
し	しまつた。
る	るをあげました。
く	くまさんがくま

小学一年

段級	
氏名	
わ	わ
ち	ち
も	も
の	の
ひ	ひ
か	か
し	し

ようねん (※ようねんの方は、小学一年の課題を書いてもよい。但、審査は従来通りです。)

い  
とめる  
を  
一  
十  
あ  
は  
ら  
う  
な  
な

十木和机相相 一 廿 廿 莎 落 一 仁 仁 何 何 一 十 十 考 考 考  
①とめる ②あい  
③はねる ④はねる ⑤右から左へはひく ⑥はねる

段 級	氏 名	だ ち と 考 え ま じ し う 。	け な い し は 何 か を 友 だ れ に 落 し て は い 。	相 手 に ま か し り た え
--------	--------	--	--	---

小学三年

一 廿 廿 花 一 仁 仁 休 休  
①とめる ②はねる ③上にはねる

段 級	氏 名	を お く り ま す 。	た ね に え い ま う	じ く を 休 ま せ て	た ん は は は 花 と
--------	--------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------

小学二年

小学四年

漢字辞典では漢字を部		首づつに分類してある。そ		して画数の少ないものか		ら順にならべてある。	
段	級	氏	名				

①まづ下におくす  
 ②舌音辞典  
 ③辞典(じてん)  
 ④左右に長く書く  
 ⑤上につき出る  
 ⑥曲曲辞典  
 ⑦米類分類  
 ⑧川順順  
 ⑨はらうとめる  
 ⑩はらうとめる

小学五年

実験してみよう。新聞紙を一		ま、用意する。まずは、広げて		立ててみる。くたつと曲がって		立てられが、次に丸めて円		柱形にしてみる。すると、立つ。	
段	級	氏	名						

①四角の方向に注意  
 ②馬鹿実験  
 ③甲門問問聞  
 ④つぎでない  
 ⑤はねる  
 ⑥とめる  
 ⑦糸紙紙紙

小学六年

「時計の時間」はもととは地球の動きをもとに定められたもので、「いびき」で「だれ」が計っても同じように進みます。しかし「心の時間」はちがいます。	
氏名	
段級	

言語筆重動動 / 1件作准進

海の中、そして地球にはまだ私たちの知らないうとが眠っている。動物たちからわたらされる夕は、私たちが思考できる範囲を大きく広げてくれるはずだ。	
氏名	
段級	

01519

日記記眠眠眠 (寝む) 筆筆筆筆筆 筆筆筆筆筆 筆筆筆筆筆 筆筆筆筆筆

小 畠 秋 聲 先 生 書